

マルチ・ストリーマ（水流発生装置）による漁場環境改善事業

実施概要

青潮の漁場への被害を軽減するため、水流発生装置（マルチ・ストリーマ）を設置し、効果の確認を行った。

○実施時期（稼動期間） 6月1日～10月3日

○実施場所 船橋市日の出二丁目地先（調査地点①）

船橋市栄町二丁目地先（調査地点②）

○期待される効果

装置周辺の底層流速・溶存酸素量の向上、底泥への好影響⇒青潮の被害軽減

《マルチ・ストリーマ写真》



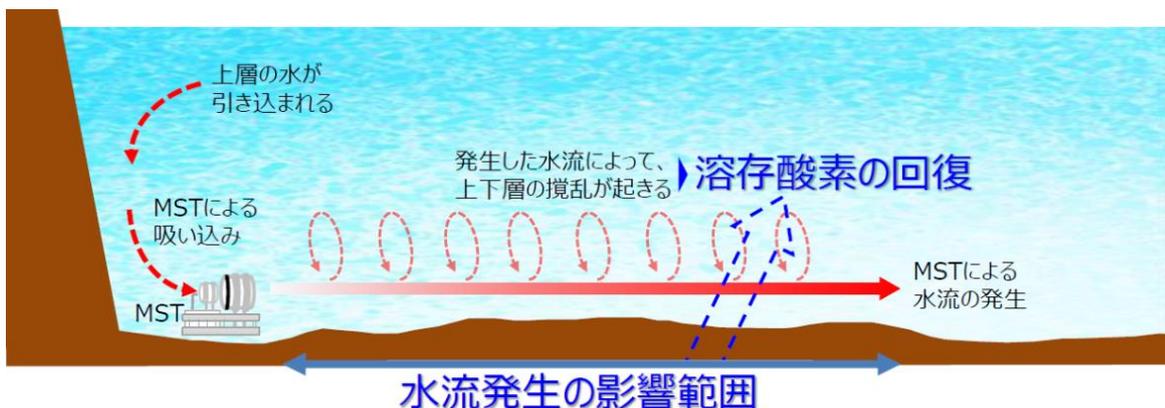
《設置場所》



《マルチ・ストリーマの運転状況（調査地点②）》



《マルチ・ストリーマの効果イメージ》



実施結果

マルチ・ストリーマによる水流の発生（流速の増加）が確認できた

→流速の増加は吐出方向200メートルまで確認できた

マルチ・ストリーマによる溶存酸素量の増加が確認できた

→溶存酸素量は吐出方向200メートルまで確認できた

一方、底質（硫化物等）に変化は見られなかった

装置の運転前後ともに底生生物は少なく、変化は見られなかった。

→底質・生物の改善には、長期間の運転が必要と考えられる。

直接の影響は不明であるが、平成28年度は、大規模な青潮が発生せず、2年ぶりのアサリの漁獲があった。

平成29年度の計画について

平成28年度（1年目）は、流速の増加、溶存酸素量の増加といった効果を確認できた。

平成29年度（2年目）は、その効果をより明確にし、青潮に対する対策に向けた水質改善効果を確認することを目的とする。

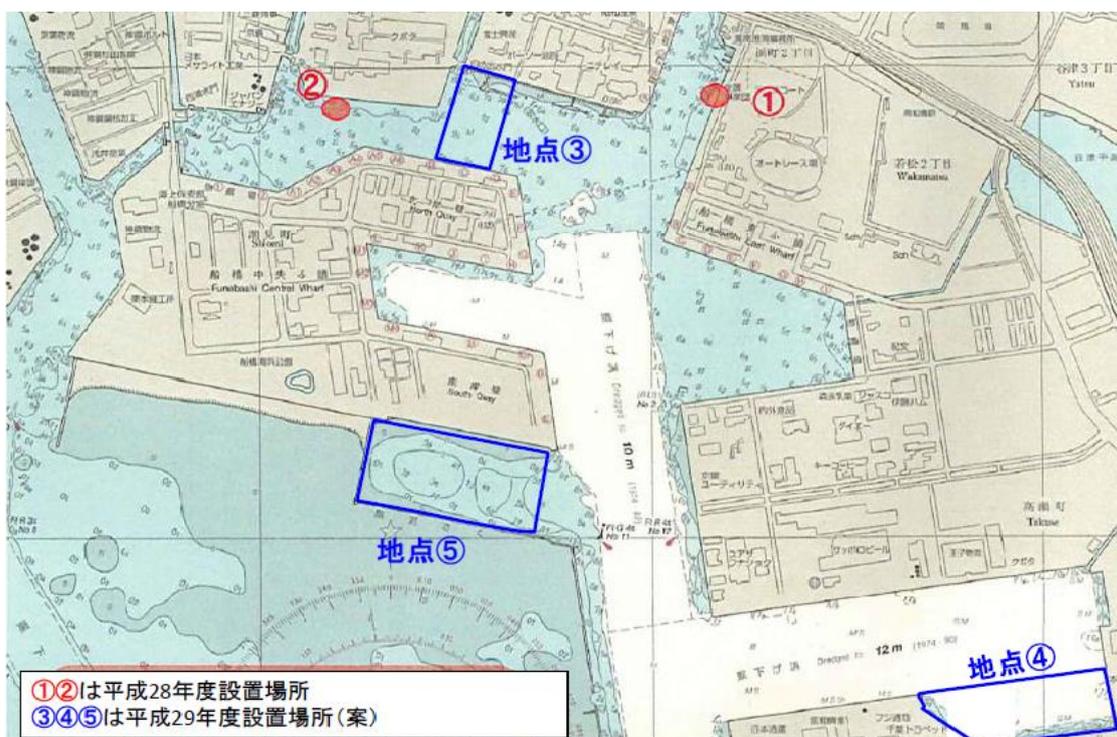
そのための候補地として3地点を選定し、実施する予定である。

地点③：地形の起伏が大きいいため、地形による影響を確認する。

地点④：水深が深く、閉鎖的な場所で効果を確認する。

地点⑤：水深が浅く、くぼ地となっている場所での効果を確認する。

《設置予定場所図》



※地点については、現時点での候補地であり、関係機関との調整の結果、変更となる場合があります。